

臨床心理士について

1.臨床心理士とは

臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて、人間の“こころ”の問題にアプローチする“心の専門家”です。日本臨床心理士資格認定協会が実施する試験に合格することで得られる“心理専門職の証”となる資格です。資格認定がスタートした昭和 63 年から令和 6 年までの合格者累計は 43,083 名、香川県の臨床心理士会には約 240 名の会員がいます。

2.臨床心理士に求められる仕事

- ①心理テスト等を用いての心理検査
- ②臨床心理面接（カウンセリング）
- ③地域住民の心の健康にかかわる援助
- ④心理臨床実践に関する研究・調査等



3.臨床心理士の働く分野

- **医療・保健の分野**
病院（精神科、心療内科、小児科他）、保健所、精神保健福祉センターなど
- **教育の分野**
小・中・高校のスクールカウンセラー、大学の学生相談室、教育センターなど
- **福祉の分野**
児童相談所、児童福祉施設、障害福祉相談所、高齢者福祉施設など
- **司法・矯正の分野**
家庭裁判所、少年鑑別所、少年院、刑務所、警察関係の相談室など
- **労働・産業の分野**
企業内の健康管理室や相談室など

4.臨床心理士になるために

心理学を専攻する大学院修士課程を修了、あるいは修了後 1 年以上の心理臨床経験をもったうえで、資格試験を受けることができます。また資格取得後も 5 年ごとに資格更新審査が行われ、更新のために研修や研究が義務付けられています。

5.「公認心理師」が国家資格に

平成 27 年 9 月 9 日に公認心理師法が成立し、心理職にとって初めての国家資格である「公認心理師」が誕生しました。国家資格化にともない、今後、心理職の活躍の場はますます広がると考えられます。